

どうなんざん  
「童男山ふすべ」

(開催日) 平成31年1月20日(日)

(時間) 午前10時～11時

(開催場所) 八女市山内1, 281 童男山古墳(1号墳)前

(観覧料) 無料

(交通アクセス) 九州自動車道 八女ICより車で約20分

※駐車場(無料)あり。

(連絡先) 八女市教育委員会 文化振興課 文化係

☎0943-23-1982

(概要)

毎年1月20日に八女市山内の童男山古墳(1号墳)前で開催される行事。

八女市山内には、秦の始皇帝の命を受け、不老不死の霊薬を捜しに出かけた徐福が、嵐に逢い難破してこの地に打ち上げられ、地元の人たちが枯れ木や落ち葉をふすべて体を温めたという言い伝えがあります。この行事は江戸時代に始まったと言われています。

行事当日は、童男山古墳周辺の清掃が行われ、集められた枯れ枝や落ち葉に点火します。そして、古墳の前で川崎小学校6年生の児童たちが徐福とふすべの由来を物語にした紙芝居を上演します。

行事が終了すると、町内会や童男山古墳・犬尾城址保存会により、訪れた人々にぜんざいがふるまわれます。



川崎小学校児童による紙芝居の様子



童男山古墳・犬尾城址保存会による「童男山ふすべ」の説明